

令和5年度 第1回津山市男女共同参画まちづくり審議会 議事概要

開催日時	令和5年7月27日 木曜日 午後2時から3時10分まで
開催場所	津山市役所2階大会議室
出席者	<p>委員 赤木委員、遠藤委員、日下委員、河本委員、佐々井委員、日笠委員、久常委員、松本委員、松山委員 (50音順)</p> <p>事務局 津山市長、総務部参与、人権啓発課長、男女共同参画係所属職員</p>
傍聴者	なし
1	開会
2	委員委嘱状交付
3	<p>市長挨拶</p> <p>近年は女性の就業率が増加してきていますが、家事・育児負担の女性への集中の是正や増加する配偶者からの暴力の防止、被害者の保護の推進等、未だ取り組むべき課題は多くあります。津山市でも平成14年の「津山市男女共同参画まちづくり条例」の制定以降、行動計画としての「津山男女共同参画さんさんプラン」に示す取組を行っていません。男女が対等な立場で各分野に参画できる社会、また、ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、魅力のある働く場所の更なる確保や、安心して子育て・介護ができる社会を、引き続き目指したいと考えています。</p>
4	委員自己紹介
5	<p>会長、副会長選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席委員数が過半数のため、本審議会の成立を確認 ・会長に遠藤委員、副会長に日笠委員、河本委員を選出
6	<p>協議</p> <p>(1)「第4次津山男女共同参画さんさんプラン」令和4年度実績について 資料1～2</p> <p>委員：令和3年度での取組結果の評価が「△」であったのに、4年度では「○」になった取組の理由は何かありますか。</p> <p>事務局：コロナ禍からの人流回復のほか、講座等の開催方法の工夫もあります。</p> <p>委員：令和3年度に実施した市民アンケートの回答率は。</p> <p>事務局：約2,000件を配布し、回収率は24.5%でした。</p> <p>委員：がん検診の受診実績が目標と比べ低いように思いますが、理由は。</p> <p>事務局：住民が健康に過ごすために必要と思われる受診率を、別途策定されている計画の目標に掲げ達成していきたい、現状実績との差はあるがしっかり取り組んでいきたいというところからの目標設定となります。</p> <p>(2)「第5次津山男女共同参画さんさんプラン」令和5年度計画について 資料3</p> <p>委員：取組内容や活動結果を知り、良い学びになりました。</p> <p>委員：取組によりいろいろ改善されていると感じました。</p> <p>委員：大人の話すことを子どもは耳にするので、家庭のなかでも男女共同参画について話ができれば良いと思いました。</p>

委員：DV関係の相談件数は増加していますか。

事務局：全国的にみても増加しています。国等によると、DVに関する様々な情報提供により被害者が「自分が受けているのは不当な暴力」だと気づいたり相談機関へ相談ができるようになったことも、増加の要因といわれています。

委員：DVに関する新たな施策はどんなものがありますか。

事務局：関係機関との更なる連携や情報提供の充実に加え、相談員のメンタルヘルスケア等が挙げられます。

7 その他

・事務局より「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度について」

事務局：制度の研究、検討のため、委員の皆様の意見を伺いたいと思います。

委員：制度の導入については各市町村で判断される状況で、岡山県としては啓発資材の支援などを行っており、動向を注視したいと考えています。

委員：住民の方々への意見はどのように聞きますか。

事務局：津山市での制度の導入を決定しているものではありませんが、今後庁内で検討し、住民の皆様のご意見を伺う場合はパブリックコメントを実施したいと思います。

委員：こういった検討を行うきっかけとなったものは。

事務局：本制度を導入する自治体もあり、また性の多様性に対する様々な時流の変化、国のいわゆるLGBT理解増進法の成立等を加味しながら検討を行っています。

委員：少子化等の問題についても広い法整備とともに社会通念の変化によっても解決されるものだと思うので、その一端を担うこの制度の導入を積極的に検討してもらいたい。

委員：周囲の理解が得られにくくカミングアウトしにくいと聞きます。まだ理解をされていない方もいると思うので、制度の導入がなされ、様々な人に理解が広がればと思います。

委員：制度もですが、相手の話をしっかり聞くことができるようになることが大切だと思います。

8 閉会